



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月10日

上場会社名 株式会社ワッツ 上場取引所 東
 コード番号 2735 URL <https://www.watts-jp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 平岡 史生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画室長 (氏名) 森 秀人 TEL 06-4792-3280
 定時株主総会開催予定日 2024年11月27日 配当支払開始予定日 2024年11月28日
 有価証券報告書提出予定日 2024年11月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の連結業績（2023年9月1日～2024年8月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	61,257	3.3	1,246	100.5	1,228	89.4	904	260.8
2023年8月期	59,309	1.6	621	△37.7	648	△43.5	250	△67.9

(注) 包括利益 2024年8月期 928百万円 (215.3%) 2023年8月期 294百万円 (△66.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	68.45	—	7.4	4.4	2.0
2023年8月期	18.46	—	2.1	2.5	1.0

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 7百万円 2023年8月期 △15百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	30,280	12,517	41.3	949.80
2023年8月期	25,489	11,964	46.9	887.48

(参考) 自己資本 2024年8月期 12,500百万円 2023年8月期 11,952百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	4,043	△538	233	9,380
2023年8月期	221	△667	△633	5,646

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00	202	81.2	1.7
2024年8月期	—	0.00	—	20.00	20.00	263	29.2	2.2
2025年8月期 (予想)	—	7.50	—	7.50	15.00		20.8	

(注) 2024年8月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 特別配当5円00銭

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,500	0.8	750	0.9	750	0.1	450	3.2	34.19
通期	62,000	1.2	1,350	8.3	1,300	5.8	950	5.1	72.18

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年8月期	13,458,800株	2023年8月期	13,898,800株
2024年8月期	297,853株	2023年8月期	431,092株
2024年8月期	13,208,473株	2023年8月期	13,570,974株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
(1) 役員の変動	13
(2) 販売の状況	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、食品を中心とした物価高は依然として収束しておらず、今後順調に回復するか見通せない状況となっております。一方、春闘における賃上げ効果が夏季賞与の支給時期とも相まって徐々に表れてきました。それにより実質賃金がプラスに転じ、定額減税効果もあり個人消費の回復に繋がっていると考えられます。円ドル為替は米国の利下げ開始と日銀の利上継続観測により、円高方向に修正されつつあります。この結果、日本の景気はようやく回復局面入りとなりました。

このような環境のもと、100円ショップ「Watts (ワッツ)」「Watts with (ワッツ ウイズ)」「meets. (ミーツ)」「silk (シルク)」等を展開する当社グループは、収益源の多角化を図るべく、国内100円ショップ事業だけでなく、ファッション雑貨店やディスカウントショップの運営等の国内その他事業、並びに海外事業にも取り組んでおります。

国内100円ショップ事業につきましては、食品アイテムの品揃えが多いロードサイド型の大型店を中心に、雑貨アイテムの品揃え増強を目的とした改装を予定通り進めております。また、精算業務効率化に向けたフルセルフレジの導入を着実に進めるとともに、「ワッツオンラインショップ」において地域限定で実施しておりました「店舗受け取り」を、お客様のさらなる利便性向上のため受取可能地域を全国へ拡大しております。

出店状況につきましては、通期計画の160店舗に対して156店舗の出店を行いました。一方、不採算店舗の整理や母店閉鎖等による退店が113店舗（うちFC5店舗）あり、当連結会計年度末店舗数は、直営が1,798店舗（48店舗純増）、FCその他が14店舗（5店舗減）の計1,812店舗となりました。また、Wattsブランド店舗である「Watts」「Watts with」については、1,383店舗（136店舗純増）と全体の76.3%となりました。

国内その他事業につきましては、心地よい生活を提案する雑貨店「Buona Vita (ブオーナ・ビータ)」は12店舗（3店舗純減）となりました。時間をテーマにしたおうち雑貨店「Tokino:ne (ときのね)」は、直営1店舗（1店舗減）に加え当社100円ショップ店舗内でコーナー展開しております。生鮮スーパーとのコラボである「バリュー100」は1店舗（増減なし）、ディスカウントショップ「リアル」は7店舗（2店舗増）となっております。

海外事業につきましては、東南アジアを中心とした均一ショップ「KOMONOYA (こものや)」は、タイで14店舗（11店舗減）、ペルーで5店舗（5店舗減）となりました。中国での均一ショップ「小物家園 (こものかえん)」は、4店舗（増減なし）となっており、自社屋号の「KOMONOYA」「小物家園」の店舗数は23店舗（16店舗減）となりました。

不採算店舗の整理を進める中、主に100円ショップ事業の売上高が堅調に推移した結果、当連結会計年度の売上高は61,257百万円（前期比3.3%増、計画比101.8%）となりました。

雑貨売上高構成比率及び100円以外の商品の売上高比率上昇を図る施策等により売上総利益率が改善し、売上総利益が計画を上回ったことを主因として、営業利益は1,246百万円（前期比100.5%増、計画比118.7%）、経常利益は1,228百万円（前期比89.4%増、計画比122.8%）、親会社株主に帰属する当期純利益は904百万円（前期比260.8%増、計画比145.8%）となりました。（前期比は前連結会計年度実績比、計画比は2024年3月28日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した2024年8月期連結会計年度の連結業績予想比）

なお、当社グループの事業は、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は24,050百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,130百万円増加いたしました。これは連結会計年度末日が金融機関の休日だったため現金及び預金が3,733百万円増加。また、商品及び製品が1,096百万円、受取手形及び売掛金が732百万円、それぞれ増加した一方、流動資産のその他に含まれる預け金が233百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は6,230百万円となり、前連結会計年度末に比べて339百万円減少いたしました。これは差入保証金が222百万円、のれんが131百万円、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェアが98百万円、それぞれ減少した一方、工具、器具及び備品が83百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は30,280百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,790百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は14,116百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,150百万円増加いたしました。これは連結会計年度末日が金融機関の休日だったため支払手形及び買掛金が1,637百万円、電子記録債務が1,213百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が660百万円増加。また、1年内返済予定の長期借入金が295百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は3,646百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円増加いたしました。これは長期借入金が103百万円増加した一方、資産除去債務が41百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は17,762百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,238百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は12,517百万円となり、前連結会計年度末に比べ552百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が702百万円増加、自己株式が48百万円減少した一方、資本剰余金が226百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は41.3%（前連結会計年度末は46.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,733百万円増加し、9,380百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は4,043百万円（前年同期は221百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は仕入債務の増加額2,851百万円、税金等調整前当期純利益1,210百万円、減価償却費607百万円であります。支出の主な内訳は棚卸資産の増加額1,086百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は538百万円（前年同期は667百万円の使用）となりました。支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出555百万円、資産除去債務の履行による支出105百万円、敷金及び保証金の差入による支出69百万円であります。収入の主な内訳は敷金及び保証金の回収による収入216百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は233百万円（前年同期は633百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は長期借入れによる収入1,400百万円、自己株式取得のための預け金の減少額40百万円であります。支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出1,001百万円、配当金の支払額202百万円であります。

(4) 今後の見通し

物価高に呼応する賃上げ等の持続力の有無が、今後の消費マインドに影響を与えると思われます。また、企業動向では為替、資源価格、米欧及び中国をはじめとする海外の景気等の影響を注視しつつの展開になると考えます。

このような状況のもと、当社グループは引き続き100円という売価に拘りつつも、他の価格帯の商品においても買い得感のある商品を提供し続けます。また、多様化する顧客ニーズに応えるため、ビジネスモデルのさらなる改善を進めることで、お客様に価格以上の価値を感じていただけるショップを目指し続けてまいります。

また、新たな成長の原動力とすべく、「Buona Vita」、「Tokino:ne」、「リアル」といったその他の事業へも積極的に取り組み、100円ショップ事業を補完する新しい収益源の多角化を図ります。

加えて、海外事業において、グループ内売上シェアのさらなる拡大と利益の獲得に向けて、既存事業の拡充と新規市場の開拓に取り組んでまいります。

以上により、次期の連結業績は、売上高62,000百万円（前期比1.2%増）、営業利益1,350百万円（同8.3%増）、経常利益1,300百万円（同5.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益950百万円（同5.1%増）を見込んでおります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期	2024年 8月期
自己資本比率 (%)	48.7	52.6	46.6	46.9	41.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	58.5	55.7	38.0	32.5	32.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.4	3.0	1.7	13.0	0.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	197.5	30.8	157.1	18.9	257.2

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（期末自己株式数控除後）により算出しております。
2. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上している負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。
4. 利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,646,608	9,380,370
受取手形及び売掛金	2,797,383	3,530,170
商品及び製品	9,719,862	10,816,387
原材料及び貯蔵品	16,785	19,206
未収消費税等	47,393	20,631
その他	721,037	319,837
貸倒引当金	△29,071	△36,467
流動資産合計	18,919,998	24,050,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,074,010	3,774,322
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,167,522	△2,874,645
建物及び構築物 (純額)	906,488	899,677
車両運搬具	33,390	27,992
減価償却累計額及び減損損失累計額	△29,153	△20,985
車両運搬具 (純額)	4,236	7,007
工具、器具及び備品	5,049,332	5,215,171
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,228,762	△4,310,840
工具、器具及び備品 (純額)	820,569	904,330
土地	257,800	257,800
リース資産	109,161	101,017
減価償却累計額及び減損損失累計額	△103,187	△97,801
リース資産 (純額)	5,973	3,215
建設仮勘定	16,139	—
有形固定資産合計	2,011,208	2,072,031
無形固定資産		
のれん	406,767	274,842
その他	442,753	343,937
無形固定資産合計	849,521	618,780
投資その他の資産		
投資有価証券	345,682	350,264
繰延税金資産	545,983	591,167
差入保証金	2,690,009	2,467,565
その他	134,581	137,836
貸倒引当金	△7,801	△7,609
投資その他の資産合計	3,708,455	3,539,224
固定資産合計	6,569,184	6,230,036
資産合計	25,489,183	30,280,173

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,974,812	5,612,554
電子記録債務	3,886,711	5,100,681
1年内返済予定の長期借入金	779,496	1,074,807
未払法人税等	117,202	310,882
未払消費税等	102,700	223,287
賞与引当金	142,008	158,384
その他	963,362	1,635,707
流動負債合計	9,966,293	14,116,305
固定負債		
長期借入金	2,104,658	2,207,659
退職給付に係る負債	456,153	513,631
役員退職慰労引当金	31,673	35,546
資産除去債務	681,263	639,867
その他	284,156	249,711
固定負債合計	3,557,905	3,646,415
負債合計	13,524,198	17,762,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	1,350,605	1,124,379
利益剰余金	10,261,701	10,963,834
自己株式	△200,885	△152,850
株主資本合計	11,851,719	12,375,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,553	150
為替換算調整勘定	96,073	124,433
その他の包括利益累計額合計	100,627	124,583
新株予約権	12,639	17,208
純資産合計	11,964,985	12,517,453
負債純資産合計	25,489,183	30,280,173

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	59,309,148	61,257,283
売上原価	36,854,440	37,666,314
売上総利益	22,454,708	23,590,969
販売費及び一般管理費	21,832,915	22,344,202
営業利益	621,793	1,246,767
営業外収益		
受取利息	4,485	7,863
受取配当金	372	186
持分法による投資利益	—	7,785
為替差益	33,274	—
受取ロイヤリティー	4,809	3,583
受取補償金	32,655	15,512
補助金収入	1,789	930
その他	7,608	14,821
営業外収益合計	84,995	50,683
営業外費用		
支払利息	12,158	15,428
退店違約金	21,974	39,984
持分法による投資損失	15,842	—
為替差損	—	5,569
その他	8,143	8,170
営業外費用合計	58,118	69,152
経常利益	648,670	1,228,298
特別利益		
投資有価証券売却益	1,810	10,659
固定資産売却益	684	588
受取補償金	—	113,202
特別利益合計	2,495	124,450
特別損失		
固定資産売却損	—	4,241
固定資産除却損	72,882	24,403
減損損失	241,626	113,857
特別損失合計	314,508	142,502
税金等調整前当期純利益	336,657	1,210,246
法人税、住民税及び事業税	115,559	349,844
法人税等調整額	△29,480	△43,747
法人税等合計	86,078	306,097
当期純利益	250,578	904,148
親会社株主に帰属する当期純利益	250,578	904,148

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
当期純利益	250,578	904,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△408	△4,403
為替換算調整勘定	32,909	11,566
持分法適用会社に対する持分相当額	11,310	16,793
その他の包括利益合計	43,810	23,956
包括利益	294,389	928,105
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	294,389	928,105

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	440,297	1,348,550	10,214,752	△133,386	11,870,213
当期変動額					
剰余金の配当			△203,629		△203,629
親会社株主に帰属する 当期純利益			250,578		250,578
自己株式の取得				△70,465	△70,465
自己株式の処分		2,055		2,966	5,022
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2,055	46,948	△67,498	△18,494
当期末残高	440,297	1,350,605	10,261,701	△200,885	11,851,719

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	4,962	51,854	56,816	3,989	11,931,019
当期変動額					
剰余金の配当					△203,629
親会社株主に帰属する 当期純利益					250,578
自己株式の取得					△70,465
自己株式の処分					5,022
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△408	44,219	43,810	8,649	52,460
当期変動額合計	△408	44,219	43,810	8,649	33,965
当期末残高	4,553	96,073	100,627	12,639	11,964,985

当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	440,297	1,350,605	10,261,701	△200,885	11,851,719
当期変動額					
剰余金の配当			△202,015		△202,015
親会社株主に帰属する 当期純利益			904,148		904,148
自己株式の取得				△191,701	△191,701
自己株式の処分		1,253		12,256	13,510
自己株式の消却		△227,480		227,480	—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△226,226	702,133	48,034	523,942
当期末残高	440,297	1,124,379	10,963,834	△152,850	12,375,661

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	4,553	96,073	100,627	12,639	11,964,985
当期変動額					
剰余金の配当					△202,015
親会社株主に帰属する 当期純利益					904,148
自己株式の取得					△191,701
自己株式の処分					13,510
自己株式の消却					—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△4,403	28,360	23,956	4,569	28,525
当期変動額合計	△4,403	28,360	23,956	4,569	552,467
当期末残高	150	124,433	124,583	17,208	12,517,453

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	336,657	1,210,246
減価償却費	615,974	607,823
減損損失	241,626	113,857
のれん償却額	131,924	131,924
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,035	7,204
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15,350	16,376
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	43,240	57,478
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,621	3,872
受取利息及び受取配当金	△4,858	△8,049
支払利息	12,158	15,428
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,810	△10,659
固定資産除却損	72,882	24,403
売上債権の増減額 (△は増加)	△111,690	△732,774
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△954,935	△1,086,716
仕入債務の増減額 (△は減少)	116,285	2,851,920
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△90,869	148,220
その他	6,268	709,543
小計	427,617	4,060,099
利息及び配当金の受取額	4,846	8,111
利息の支払額	△11,673	△15,724
法人税等の支払額	△280,593	△150,601
法人税等の還付額	80,860	141,906
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,058	4,043,791
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△547,787	△555,835
有形固定資産の売却による収入	684	1,129
無形固定資産の取得による支出	△72,040	△54,607
資産除去債務の履行による支出	△59,285	△105,673
敷金及び保証金の差入による支出	△114,535	△69,715
敷金及び保証金の回収による収入	113,270	216,331
投資有価証券の売却による収入	11,125	29,623
その他	600	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△667,968	△538,148
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	700,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△822,287	△1,001,688
リース債務の返済による支出	△5,531	△2,605
自己株式の取得による支出	△67,498	△0
自己株式の取得のための預け金の増減額(△は増加)	△233,884	40,171
配当金の支払額	△203,952	△202,650
財務活動によるキャッシュ・フロー	△633,154	233,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	38,824	△5,106
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,041,240	3,733,762
現金及び現金同等物の期首残高	6,687,848	5,646,608
現金及び現金同等物の期末残高	5,646,608	9,380,370

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	887円48銭	949円80銭
1株当たり当期純利益	18円46銭	68円45銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	250,578	904,148
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	250,578	904,148
普通株式の期中平均株式数 (株)	13,570,974	13,208,473
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2022年3月22日開催の取締役会決議による新株予約権 (新株予約権の数 1,238個 (普通株式 123,800株))	2022年3月22日開催の取締役会決議による新株予約権 (新株予約権の数 1,238個 (普通株式 123,800株))

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他役員の変動

該当事項はありません。

(2) 販売の状況

当社グループは、単一セグメントであるため、地方別・事業部門の売上高により記載しております。

事業部門	地方別	金額 (千円)	前年比 (%)
	北海道地方	2,496,334	110.3%
	東北地方	2,387,468	106.3%
	関東地方	14,649,095	101.5%
	中部地方	8,326,935	108.4%
	近畿地方	15,322,504	100.4%
	中四国地方	6,762,453	111.5%
	九州地方	5,263,376	104.3%
100円ショップ直営計		55,208,168	104.2%
卸他		5,953,362	96.3%
顧客との契約から生じる収益		61,161,531	103.3%
その他収益		95,752	73.6%
外部顧客への売上高		61,257,283	103.3%